

〔記録写真〕 R01年度P V合同研修会等 (1/5)

Photo & Editing : Hiroaki-Abe

日時 : (研修会&交流会) R01/09/08(日) 13:30~ 於: 休暇村岩手網張温泉
(自然観察会) 同、09/09(月) 9:00~11:00 網張の森
参加者 : 総勢 研修会67名、交流会50名、観察会44名
うち岩手山地区PV: 研修会23名、交流会13名、自然観察会13名



土井宣夫講師を囲んで参加者の記念撮影

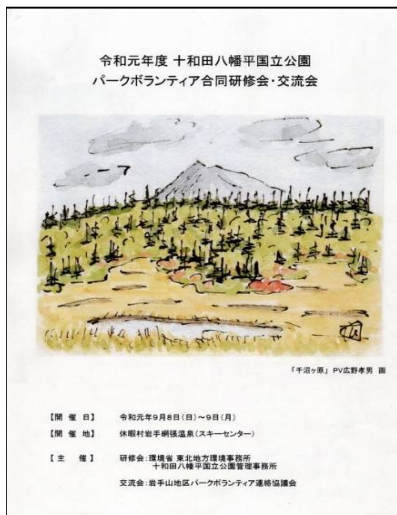
【開会セレモニー】 13:30~ 13:50



〈開会挨拶〉 十和田八幡平NP管理事務所長 森川 久氏



〈司会進行〉 工藤紀恵さん
(盛岡管理官事務所)



資料表紙 (絵: 広野PV)



〈歓迎挨拶〉 岩手山地区PV家子会長



(↑写真提供: 盛岡管理官事務所)

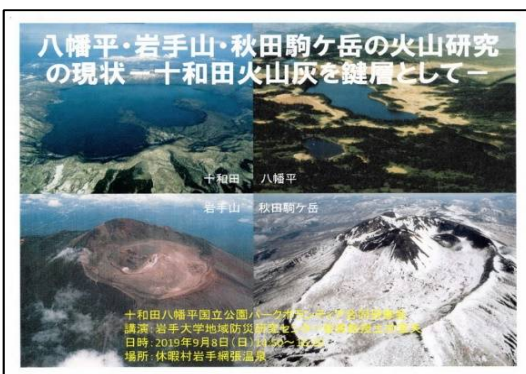
【講演】 14:50~16:40

演題 「八幡平・岩手山・秋田駒ヶ岳の火山研究の現状・・・十和田火山灰を鍵層として」

講師 土井 宣夫 氏 岩手大学地域防災研究センター客員教授



講演中の土井先生

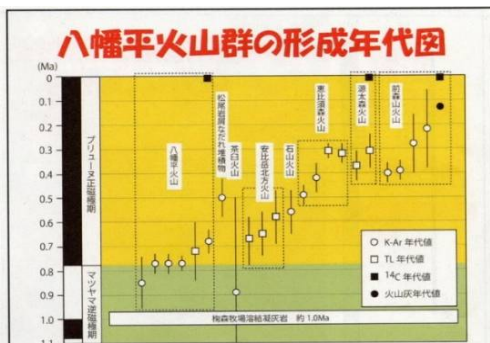


配布資料表紙



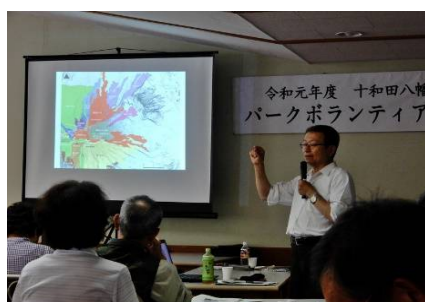
八幡平火山のまとめ

- ①1万年前以降、八幡沼付近で3回水蒸気噴火、御在所付近で1回水蒸気噴火。
- ②1万年前以降、前森山と源太森でマグマ噴火の可能性(活火山?)。
- ③八幡平火山群の最新地質図完成。



秋田駒ヶ岳火山のまとめ

- ①2003年から続く火山活動は、深部低周波地震活動から始まり、山頂東寄りの緩やかな山体膨張、地震活動、女岳の噴気活動がある。
- ②女岳の噴気分布は、女岳東寄りに熱源または高温流体の上昇域があることを示す(1970年噴火後の噴気活動とは熱源の位置が異なる)。
- ③従来の「女岳形成後に小岳が生成」との理解は誤り。女岳噴火史の詳細説明が必要。
小岳の形成は女岳の噴火後



岩手火山のまとめ

- ①立体斜度図を用いて詳細な地形解析が可能になった。
- ②その結果、山体構造の解明、馬蹄形カルデラの検出、溶岩の区分、岩屑なだれ堆積物の地形区分が進展し、新発見が多数得られるようになった。(例: 妻ノ神沢・屏風尾根両馬蹄形カルデラ、屏風尾根・洞ヶ沢・妻ノ神沢各火山など)

【交流会（懇親会）】 18:00 ~20:30



司会進行：米田副会長



最初に、交流会参加者全員で記念撮影



開会挨拶：阿部顧問
(岩手山地区「モモンガの会」)



来賓挨拶：荒巻管理官 (環境省出席者を代表して)
(盛岡管理官事務所)



歓迎挨拶：休暇村鎌尾支配人



乾杯発声：渋谷PV (環境省OB；岩手県立大学教授)



〈各地区等 参加者紹介〉



十和田八甲田地区



八幡平地区



南八幡平地区



環境省関係者



網張VC



岩手山地区

(↑写真提供：盛岡管理官事務所)

【自然観察会】 9/9 9:00~10:30 於：網張の森
参加者 44名



観察会開始前に記念撮影

台風15号の影響が心配されたが、開始時には空模様も明るさを増した。
念のため予定コースを短縮して、早目に解散した。



班分けや行程等の説明



観察要領等の説明：「解説はしない。皆さんに気づき等を教えて欲しい」



地区ごと3班に分かれ出発
岩手地区PVはそれぞれに分散対応



キノコの観察



ブナの素肌？観察
温泉噴気で地衣類無し



観察終了後、各参加者から感想を伺う



【スタッフミーティング】

全行事終了後、感想や意見を交換